429

災害に強い暮らしを学ぶ電源車を活用した講習会の実施

取組主体【掲載年】法人番号事業者の種類【業種】実施地域いわきおてんと SUN 企業組合3380005010739その他事業者
【サービス業 (他に分類されないもの)】福島県

- 福島県を拠点に活動するいわきおてんと SUN 企業組合は、平成 27年度に再エネルギー電源車「おてんと号」を利用し、13校 500 名を超える子どもたちに自然エネルギー講習会を実施した。
- 「おてんと号」は、天ぷら廃油発電、太陽光発電、風力発電の3 つの電源の他、家庭のコンセントも電源にできる電源車である。
 また、医療用機器や大型空調機が使える 200V と家庭用各種家電品が使える 100V の両方に対応した蓄電システムとインバーター



▲手作り太陽光パネル製作

を搭載しており、停電時でも、医療施設や避難所等に住宅5軒程度の電力供給が可能となっている。

- また、衛星電話、非常用トイレシステムや、非常時の調理手段として利用できる大型ソーラークッカーを搭載しており、災害拠点としても機能するよう設計されている。
- 小学校で開催した電源車を利用した講習会では、子どもたちが、はんだごてを使った太陽光パネルの製作、LEDの点灯、非常用電源・防犯灯の仕組の学習などを行った。また、自然エネルギーや、 天ぷら廃油などのガソリンに代わるどこにでもある代替え燃料の活用方法を学ぶことで、災害時に ライフラインが途絶えたときにも被災者の身近なもので発電する知識を提供する。